

2022年度 修士課程入学試験（秋期）

試験問題〔専門〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

問題A-1～E-9の中から志望研究指導の問題について解答しなさい。

志望研究指導以外の問題を選択した場合や2問以上解答した場合は採点されません。

問題記号	研究領域	ページ
A-1～7	スポーツ文化研究領域	P. 1
B-1～8	スポーツビジネス研究領域	P. 2～3
C-1～17	スポーツ医科学研究領域	P. 4～7
D-1～6	身体運動科学研究領域	P. 8～9
E-1～9	コーチング科学研究領域	P. 10～11

A. スポーツ文化研究領域

A-1 研究指導名：スポーツメディア論（トンプソン リー A.）

新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、東京 2020 オリンピック競技大会は 1 年延期され、多くの競技が無観客で行われた。メディア研究の観点から、この大会について論じなさい。

A-2 研究指導名：スポーツ史（石井 昌幸）

オリンピック種目に代表されるような、いわゆる「近代スポーツ」の持つ諸特徴と、近代資本主義社会の諸特徴とは、その類似性がしばしば指摘されてきた。どのような点で類似しているかをあげ、それらが類似している理由について述べなさい。

A-3 研究指導名：舞踊論（杉山 千鶴）

舞踊等のジャンルを一つ取り上げ、①当該地域への移入の経緯、②その後の浸透の過程における変容、③特性について論ぜよ。

A-4 研究指導名：体育科教育学（吉永 武史）

体育授業における形成的授業評価の意義とその具体的な実施方法について述べよ。

A-5 研究指導名：スポーツ教授学（深見 英一郎）

チームスポーツにおける望ましい選手選考の在り方について述べなさい。

A-6 研究指導名：スポーツ社会学（中澤 篤史）

以下の①～③の社会学の学術用語の中から 1 つを選んだ上で、i) その学術用語の意味を説明し、ii) その学術用語を使って、スポーツ・身体・人間に関連する任意の社会現象を論じなさい。

① ナショナリズム (nationalism) ② 権力 (power) ③ 構造 (structure)

A-7 研究指導名：スポーツ文化論（川島 浩平）

現代スポーツが直面する課題を具体的に一つ取り上げ、その課題を説明し、その上でその課題にどう取り組むべきか、あなたの意見を述べなさい。

B. スポーツビジネス研究領域

B-1 研究指導名：スポーツ経営学（木村 和彦）

スポーツツーリズムの持続可能性（SDG s）について、考えることを述べなさい。

B-2 研究指導名：健康スポーツ論（中村 好男）

「しっかり歩く」、「楽に歩く」、「速く歩く」の3つの「歩き方」について、その違いを明確に定義したうえで、健康の観点から、各々の歩き方の意味を論述せよ。

B-3 研究指導名：スポーツクラブビジネス論（間野 義之）

2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会を終えて、スポーツビジネス面でのレガシーについて、具体的な事例をあげて説明してください。

B-4 研究指導名：トップスポーツビジネス論（平田 竹男）

2021 年夏に行われた 2020 オリンピック東京大会では、27 個もの金メダルをはじめ、合計 58 個のメダル獲得など、大変な盛り上がりを見せました。特に新種目のスケートボードで男子は堀米雄斗選手、女子では西矢椛選手、四十住さくら選手、開心那選手、中山楓奈選手などがメダルを獲得するなど若い日本人選手の大活躍もあり多くの報道に取り上げられました。

今あなたがスケートボードの協会会長であると仮定し、スポーツビジネスとしてスケートボードを発展させる方法を、トリプルミッションの考え方に基づいて論述しなさい。

B-5 研究指導名：スポーツ組織論（作野 誠一）

スポーツイベントのボランティア・マネジメントにおいて想定される問題ないし課題を3つ指摘し、それぞれについてどのような対応をとるべきかについて述べよ。

B-6 研究指導名：スポーツビジネス・アドミニストレーション（武藤 泰明）

米国プロバスケットボールの NBA は、2019-20 シーズンのプレーオフを、すべてフロリダ州で行いました。この「集中実施方式」の意図、背景、意義などについて解説してください。

B-7 研究指導名：スポーツビジネスマーケティング（松岡 宏高）

スポーツ組織（プロスポーツチーム、フィットネスクラブ、競技団体など）のマーケティングにおいて、消費者（観戦者、利用者、会員など）の心理や行動の特性を理解することが重要であると考えられている。この理由について論理的に説明せよ。

B-8 研究指導名：スポーツビジネス法（松本 泰介）

オリンピック競技大会やサッカーW杯などのメガスポーツイベントはどのような内容の契約に基づいて行われるか。国際団体（International Federation）、現地組織委員会（Local Organizing Committee）、開催都市（Host City）の主要な権利義務を中心に述べなさい。

C. スポーツ医科学研究領域

C-1 研究指導名：運動免疫学（赤間 高雄）

一過性運動による免疫機能の変化と継続性運動トレーニングによる免疫機能の変化を具体的に説明しなさい。

- (1) 一過性運動による免疫機能の変化
- (2) 継続性運動トレーニングによる免疫機能の変化

C-2 研究指導名：運動器スポーツ医学（鳥居 俊）

下記の運動器の問題のいずれか一つを選び、スポーツ動作やスポーツ障害に及ぼす影響やその管理方法について述べなさい。

扁平足、足関節不安定性、X脚、O脚、臼蓋形成不全、脚長差

C-3 研究指導名：健康行動科学（岡 浩一朗）

コロナ禍における企業の健康経営推進の観点から、勤労者の座りすぎ問題とその対策をどのように進めていくべきかについて述べよ。

C-4 研究指導名：スポーツ整形外科学（金岡 恒治）

腰椎分離症の病態について腰椎を図示して詳述し、その予防方法について述べよ

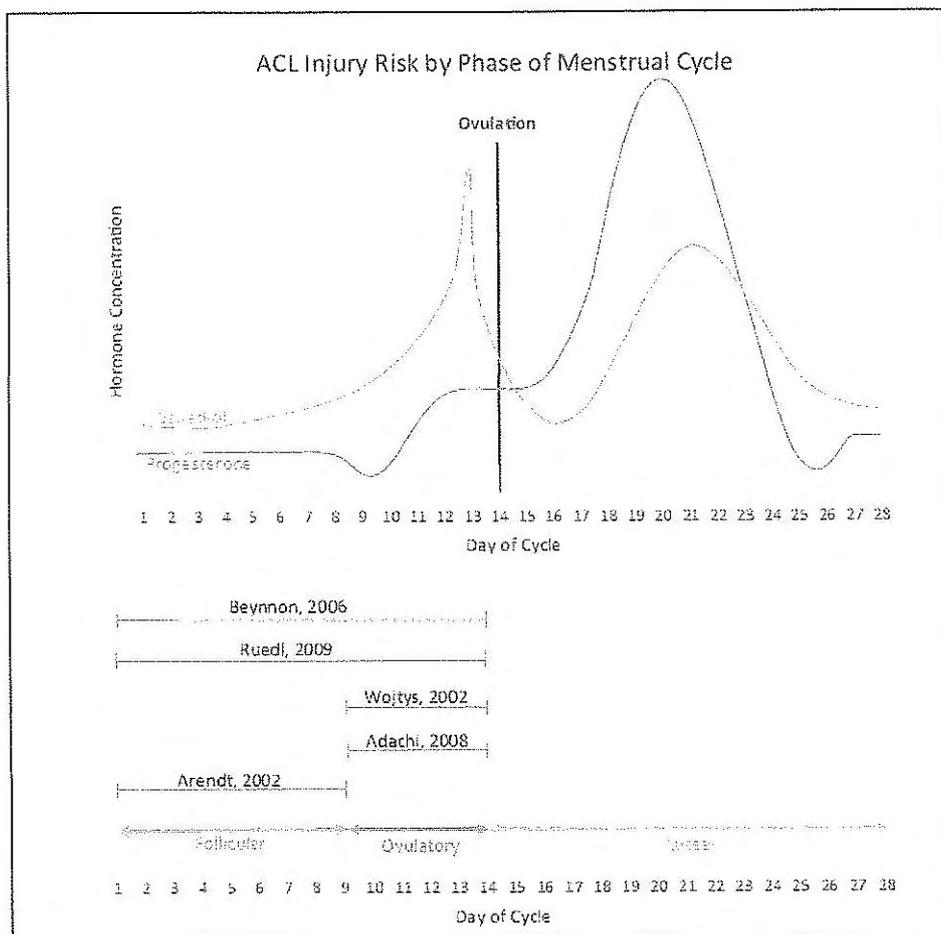
C-5 研究指導名：予防医学（鈴木 克彦）

COVID-19の病因とその予防対策について知るところを述べよ。

C-6 研究指導名：アスレティックトレーニング（広瀬 統一）

下の図は女性アスリートの前十字靭帯損傷リスクと月経周期との関係について、これまでに報告されている 5 つの先行研究結果をもとに示したものである。図中の上段には排卵（Ovulation）前後のエストラジオールおよびプロゲステロンの分泌変化を示しており、下段には先行研究内で期分けされた卵胞期（Follicular）、排卵期（Ovulatory）、黄体期（Luteal）の期間と、前十字靭帯損傷リスクが高い時期*が示されている。この図から、月経周期と前十字靭帯損傷リスクとの関係について簡潔に説明した上で、卵胞期や排卵期に前十字靭帯損傷リスクが高くなる要因について自身の考えを説明せよ。

*人名と年号が示された横線は、前十字靭帯損傷リスクが高い時期を示している。



（出展：Simone D. Herzberg et al. (2017). The Effect of Menstrual Cycle and Contraceptives on ACL Injuries and Laxity: A Systematic Review and Meta-analysis, Orthop J Sports Med, 5(7): 2325967117718781. 注：筆者が論文内で述べているように、図の根拠となっている引用された5つの先行研究の質には未だ課題があるため、図が示す内容については更なる研究が必要であることに留意する。）

※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。
Copyright © Herzberg, Simone D et al. "The Effect of Menstrual Cycle and Contraceptives on ACL Injuries and Laxity: A Systematic Review and Meta-analysis." Orthopaedic Journal of Sports Medicine vol. 5,7 2325967117718781. 21 Jul. 2017, doi:10.1177/2325967117718781

C-7 研究指導名：筋生物学（秋本 崇之）

骨格筋分化の分子メカニズムに関して、現在理解されているところを述べよ。

C-8 研究指導名：運動代謝学（宮下 政司）

一過性の身体活動が食後の糖質代謝に及ぼす影響について、知るところを述べよ。

C-9 研究指導名：運動器スポーツ機能解剖学（熊井 司）

人体の構造の中で腱・靭帯が骨に付着している部分は解剖学的にエンテシス（enthesis）と呼ばれ、様々なスポーツ障害が発生する。この部位における障害の病態について、以下の5つのキーワードを全て用いて解説せよ。

キーワード：アキレス腱、線維軟骨組織、オーバーユース、微小損傷、滑液包

C-10 研究指導名：健康教育学（石井 香織）

健康教育学的・心理学的理論を援用し、スポーツ選手の健康問題を1つ挙げその予防または改善を目指すためにはどのような働きかけが考えられるか。具体例を挙げ述べよ。

C-11 研究指導名：スポーツ神経精神医科学（西多 昌規）

設問A、Bに解答してください。

A. ブルーライトが人間の体内リズム、睡眠に与える影響について、知るところを述べてください。

B. 慢性的な睡眠不足は、アスリートのメンタルやパフォーマンスにどのような影響を与えるのでしょうか。アスリートが抱える現状の問題点や最近の知見を交えて、知るところを述べてください。

C-12 研究指導名：スポーツ疫学（澤田 亨）

「コホート研究」とはどのような研究か説明せよ。

C-13 研究指導名：アスレティックパフォーマンス（平山 邦明）

エンデュランストレーニングにおける Polarized training モデルの特徴と効果を答えよ。

C-14 研究指導名：環境運動生理学（細川 由梨）

暑熱ストレスに対する耐性には個人差が存在する。その要因について知るところを述べよ。

C-15 研究指導名：スポーツ生化学・遺伝学（谷澤 薫平）

運動能力は少なからず遺伝の影響を受けることが明らかにされているが、遺伝子検査により運動能力を予測することは現状では難しいとされている。その理由を説明せよ。

C-16 研究指導名：スポーツ生理学（前田 清司）

スポーツ心臓について知るところを述べよ。

C-17 研究指導名：応用生理学（宮地 元彦）

スポーツ心臓には大きく2つのタイプがある。それぞれの特徴と関連するスポーツ種目について記述しなさい。

D. 身体運動科学研究領域

D-1 研究指導名：生体ダイナミクス (川上 泰雄)

人間の身体における骨格筋の配置とそれぞれの解剖学的な特徴について、関節におけるパワー発揮に関連させながら述べなさい。

D-2 研究指導名：スポーツ心理学 (正木 宏明)

運動学習におけるエラー検出能力の役割について説明しなさい。

D-3 研究指導名：統合運動神経生理学 (宝田 雄大)

以下の2問のいずれかを選択し、その設問に解答しなさい。

A) 1953年に神経心理学者のコリン・チェリーによって提唱された、カクテルパーティー効果 (英: cocktail-party effect)、それまで周囲の会話は全く意識されていなかったのに、自分の名前に突然気付く・・・、は音声の選択的聴取のことで、選択的注意の代表例である。もし、周囲の会話を情報として全く処理していなかったなら名前がでてきても検出できない。逆に、情報処理しているというなら、自分が現在参加している会話の内容と同じように終始意識されてもよさそうなものである。ではなぜ、突然、名前が・・・あなたなら、この奇妙なパラドックス*をどのように解釈しますか。考えるところを述べよ。

*パラドックスとは、正しそうに見える前提と、妥当に見える推論から、受け入れがたい結論が得られる事を指す言葉。相互に矛盾する命題がともに帰結し得ること。

B) 局所的な血流制限下のレジスタンス(加圧)トレーニングでは、たとえ低強度でも、高強度の場合に匹敵する筋肥大をともなった筋力増加を引き起すことはよく知られている (Takarada et al., 2000)。またこの血流制限下では、筋疲労を引き起こすような繰り返しの筋収縮はもとより、単発の筋収縮でさえ、発揮筋力に対する知覚 (力覚) がその筋活動の変化を伴うことなく増大する (Takarada et al., 2006)。この時、その筋収縮に関わっている一次運動野の興奮の程度は(加圧無と比較して)どのようになっているだろうか。力覚増大との関連で論ぜよ。但し、短時間の上腕基部への圧迫は正中神経等の主要な神経機能を阻害しないこと、そして、筋収縮を伴わないその圧迫は経頭蓋磁気刺激法による単発の一次運動野刺激の誘発筋電図に何らの変化も与えないこととする。

D-4 研究指導名：バイオメカニクス (矢内 利政)

競技スポーツにおける身体運動の力学的なメカニズムを紐解く際に、運動連鎖 (kinetic chain) の概念を理解しておくことは極めて重要である。そこで、開放型運動連鎖 (open kinetic chain) の代表的な運動である投球動作に着目して、①この動作が一般に開放型運動連鎖に分類される根拠を説明したうえで、②この運動連鎖による動作の特徴をリストし、③それら特徴がどのようなメカニズムで発生するのかを解説せよ。また、④なぜそのような特徴を有する投球動作が身体機能を最大限に発揮するものと考えられるのかについて、筋腱複

合体の力発揮特性の影響を含めて論ぜよ。

D-5 研究指導名：スポーツ栄養学（田口 素子）

スポーツ選手がウエイトコントロールをする場合、思うような結果が得られないことがある。増量か減量のいずれかを選択し、その主な生理的要因として考えられるものを2つ以上挙げて説明しなさい。

D-6 研究指導名：運動生理学（林 直亨）

運動時に酸素摂取量が増加するメカニズムを、以下の4つの言葉を含めた文章で説明しなさい。説明に図を用いてもかまいません。

・心拍出量 ・末梢血管 ・交感神経 ・40mmHg

E. コーチング科学研究領域

E-1 走運動・コーチング科学 (磯 繁雄)

下図は、男子 400H 世界記録樹立者と日本代表選手が走行したスタート(s)から 5 台(5H)までの所要時間を示している。所要時間より 2 名の戦術的な類似点と特異点を示しなさい。そして、日本選手が世界記録保持者と対等な所要時間で走るための要因を考えコーチング計画とその説明を述べよ。

なお、両選手とも後半(5H-ゴール)まで速度低下率は同様とする。

	s-1H	1H-2H	2H-3H	3H-4H	4H-5H	s-5H
世界記録樹立者	5.67	3.53	3.50	3.64	3.70	20.04
日本選手	6.08	3.84	3.93	3.93	4.03	21.81

単位：秒

E-2 トップスポーツコーチング科学 (奥野 景介)

東京オリンピック・パラリンピックにおいて、特定の競技を対象にし、その結果またはプロセスを含めて評価・総括し、2024 年に向けて競技力の向上を図るためにはどのような課題を設定するか自分の考えを述べなさい。

E-3 スポーツコーチング学 (土屋 純)

運動技術について、その定義と特性、さらにそれを把握する方法を解説しなさい。

E-4 コーチング心理学 (堀野 博幸)

「実力発揮を妨げる要因」の観点から、育成年代のコーチングで留意すべきことをスポーツ現場での具体例を示しながら説明しなさい。

E-5 ボールゲーム戦術戦略論 (倉石 平)

強化を図る上で、日本にとっては一貫指導と言われる事柄が求められています。あなたの競技での一貫指導の実際を述べてください。

(キーワード、普及、育成、強化)

E-6 トレーニング科学 (岡田 純一)

主運動に先立つ準備として実施される「ウォームアップ (Warm-up)」に関して以下の問いに答えなさい。

- ①ウォームアップの生理学的意義を説明しなさい。
- ②ウォームアップの種類について、以下の区分に従って説明しなさい。

【受動的ウォームアップ】

【一般的ウォームアップ】

【特異的ウォームアップ】

E-7 チームスポーツコーチング論 (松井 泰二)

1つの競技を取り上げ、そのマネジメントについて考察しなさい。可能な限りそれに関わる数値も示しなさい。その際に競技名や種目を明示し具体例を用いて説明しなさい。

E-8 武道のコーチング学 (射手矢 岬)

武道では「膝を抜く (抜重して地面から浮く)」などの特異な動作がある。このような武道特有の動作を1つ例をあげ、その有用性を説明しなさい。上記の動作または別の動作の説明でもよい。

E-9 冬季スポーツコーチング学 (藤田 善也)

冬季スポーツの中から1つを選び、その運動中に生じるいくつかの力と運動パフォーマンスとの関係についてそれぞれ説明せよ。

